

ISAP2026

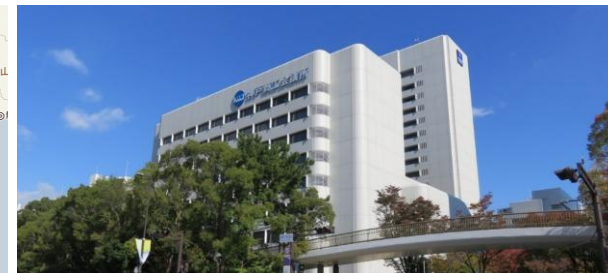
(9/4) テーマ別会合

**「中小企業と地域を豊かにするGXとは」
政府、自治体、支援機関の連携による支援体制の構築**

神戸商工会議所 産業部 竹下 竜介

神戸商工会議所

- ✓ 商工業の振興を通じた神戸経済の発展を目的に、1878年（明治11年）設立。
- ✓ 同年設立された東京と大阪の商工会議所に次ぐ、日本で3番目に古い商工会議所
- ✓ 現在の会員数は約12,000。
- ✓ ①政治・行政への政策提言・意見要望、②中小企業の経営支援、③地域振興・まちづくり、④販路開拓・ビジネス創出、の4つのミッションに基づき事業活動を展開。会員企業のイノベーション創出やスタートアップ支援、貿易の振興や経済交流の促進等にも取り組む。



■古くから港を中心に発展してきた神戸

神戸は、古くから、神戸港を基点とした交通の要衝として発展。鉄鋼・造船・ゴムなど、いわゆる重厚長大を中心とした製造業、それらを支える海運・港湾関連産業が基幹産業として栄えた。

■高い技術力をもつ製造業

鉄道・船舶などの輸送用機械や、鉄鋼、一般機械・エネルギー関連など日本を代表する大手企業が数多く立地。また、幅広い分野のものづくり中小企業が集積していることも大きな特徴。

■ブランド力のある生活文化産業

多様な文化や原材料を受け入れ、国際色豊かで特色ある生活文化産業の集積地としても発展。アパレル、真珠、シューズ、清酒、洋菓子など衣食住遊分野のブランド力ある企業が存在。

■多くの外資系企業の拠点

世界に名だたる外資系企業が拠点を構え、国際都市としてのイメージの向上にも貢献。外資系企業にとって神戸の魅力は、「コスト競争力」「良好な立地・交通アクセス」「高い生活・住環境」「国際都市としての歴史とネットワーク」「先端産業の集積」「行政サポート」「多様な人材」「インクルーシブな市民性」という多面的な環境。

■次世代産業の進展

ポートアイランドを中心に医療関連企業が集積する「神戸医療産業都市」をはじめバイオものづくり、水素エネルギー、航空・宇宙などの次世代産業も進展している。



- 当商工会議所が実施した調査(2022年・2023年)において、省エネ、温室効果ガス排出削減等に取り組んでいる地元企業は約5割
- 温室効果ガス排出削減等への取組みを行う上での課題上位は「ノウハウ、知識・情報の不足」「コストを価格転嫁できない」「取組みを推進できる人材不足」。

地元企業の状況を踏まえ、当商工会議所は以下の方針で事業を展開

- | | |
|--------|-----------------------------|
| ①情報不足 | → 脱炭素・GX関連テーマによるセミナーや事例発表 |
| ②人材不足 | → 専門家紹介やビジネスマッチングを通じた課題解決支援 |
| ③コスト負担 | → 国や地元自治体の補助金説明やツール等の紹介 |



1. 脱炭素・GXの動向や施策紹介

①国・兵庫県・神戸市等の支援策の活用促進

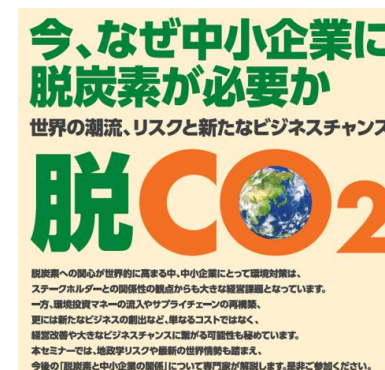
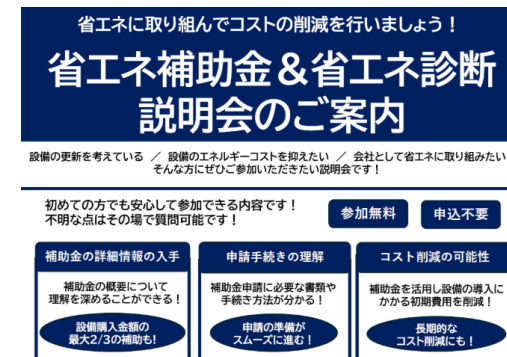
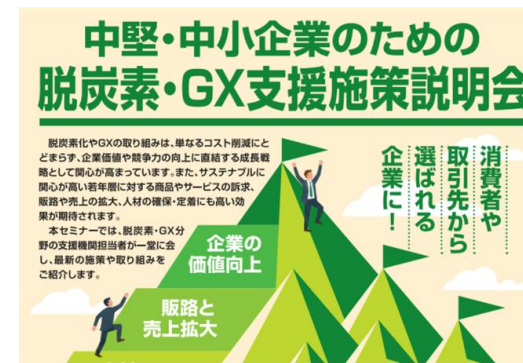
- 施策説明会の開催
- 施策情報の発信（機関紙、Webサイト、チラシ）
- 補助金等の活用促進、申請書作成支援

②脱炭素の関連情報や取り組み事例の発信

- 脱炭素支援セミナーの開催
- 脱炭素経営の事例周知

③脱炭素関連事業者とのビジネスマッチング

- 関連ソリューションの紹介
- 関連企業とのビジネスマッチング



2. CO2排出量の見える化支援

①スタートアップ等との協業による CO2排出量測定・削減計画策定支援

- 関連ソリューションの紹介
- 関連企業とのビジネスマッチング



②クルマの排出量見える化／削減

- 兵庫県・兵庫県警・
あいおいニッセイ同和損害保険との連携事業



神戸商工会議所 脱炭素・GX 支援事業



③紙パック回収実証事業

- 全国牛乳容器環境協議会・
日本サステイナブルレストラン協会との連携事業



3. 環境配慮型製品の商品化・販路拡大支援

サステナブル製品・サービスを提供する中小企業の ブランディング戦略構築を通じた販路拡大支援事業

- ・ 配慮したエシカル消費の市場が注目されているが、製品化の難しさや、製造・流通過程でのコスト高、消費者への訴求のズレなど様々な課題に直面。
- ・ そこで社会トレンドや企業の成功事例から、商品設計・アピール手法など本ビジネスで成果を挙げるためのポイントを学ぶとともに、検討したブランディング戦略に基づくテスト販売を実施。



サステナブル製品・サービスで市場を勝ち抜く!

顧客の心をつかむ ブランディング戦略

集中講座

サステナブルな製品やサービスという
と、「今までとは全く異なる素材やサ
プライチェーンを使わないといけない
のではない」「価格が高くなって売
れないのではない」と思いがちです
が、すでに自社の事業や製品・サー
ビスの中に、社会性が含まれていて、顧客
の共感を得られる魅力もあるのです。問
題は、そのことに気づいていない、うまく
伝えられない、ということです。
本プログラムは、セミナーとミニワーク
ショップ(以下ミニWS)を通して、自
社の製品・サービスの価値や魅力を引き
出し、共感を得られる伝え方を考え、さ
らに自社の強みや未来を導くための、
手帳とフレームワークを持ち帰って
いただく全3回の連続講座です。



第1回
2025年11月10日(月)
START 14:00~CLOSE 16:30

サステナビリティで
会社を強くする
ためには?

第2回
2025年12月16日(火)
START 14:00~CLOSE 16:30

自社の価値・魅力を
深掘りし最大化!

第3回
2026年1月15日(木)
START 14:00~CLOSE 16:30

「価値マップ®」を基に
自社の方針を決める

対象 神戸市内の中小企業等のうち、
環境配慮型製品・サービスを既に開発している／開発中の企業 ※当商工会議所会員を優先
場所 神戸商工会議所 3階会議室 神戸市中央区東三軒市1-1
お申込み 下記のURLかQRコードからお申し込みください。
<https://kobe-bizmatch.jp/gx/events/10>



参加費 会 員 10,000円(税込)
非会員 15,000円(税込)
※申込時には、別途「申込メール」を
送付させていただきます。

主催:神戸商工会議所

4. 循環経済（サーキュラー・エコノミー）の実現に向けた取り組み

サーキュラーエコノミー推進事業

経済成長と環境保護を両立させる新たな経済システムとしてサーキュラーエコノミーが注目を集めている。事例を通じてその考え方を学び、新たなビジネスチャンスの創出、コスト削減、企業イメージ向上に繋げる。



廃食油のSAF原料化支援事業

兵庫県、再生資源卸売業のSocial Bridge(株)と連携。使用済み食用油の回収・再資源化を支援。事業所から回収した使用済み食用油を航空燃料（SAF）へ繋げ、地域から脱炭素社会の実現に貢献する。



5. スタートアップとの連携や新たな技術活用

①新技術を紹介するミートアップイベントの開催

脱炭素に貢献する新たな技術・サービスを提供する企業・スタートアップの取り組みを紹介し、ビジネス連携を促すイベント等の機会を提供。



②スタートアップと地元企業のビジネスマッチング

地元企業にスタートアップを個別にマッチング。企業の脱炭素・GXに繋げる。

事例①エネルギーGX事業を展開するNOWALL(株)と食品メーカーをマッチング

→農園にソーラーシェアリングを活用、農家にも売電収入が入る仕組みを構築

事例②廃棄物の再資源化に取り組む(株)weadと飲料メーカーをマッチング

→食品を廃棄物を分解促進剤に応用

事例③バイオものづくりに取り組む企業と化粧品メーカー、化学品メーカー等とマッチング

→微生物が生成する有用物質の活用に向けて協業検討

6. 脱炭素先行地域の取り組み

①神戸市の脱炭素先行地域

共同提案者：神戸市・神戸商工会議所・(株)三井住友銀行・
ポートアイランド第2期企業自治協議会・神戸大学・
大阪ガス(株)・阪神国際港湾(株)

提案内容：

【テーマ】震災から30年、復興プロジェクト「神戸医療産業都市」
を脱炭素で「いのちを守るまち」へ進化

【対象エリア】ポートアイランド 医療産業都市・港湾エリア



②対象エリア企業の脱炭素促進事業

対象エリアに所在する企業の脱炭素を促進。
各社毎の電力データを見える化し、低減するための方策を検討する
などの取り組みを実施



7. 支援機関等の連携による面的支援の枠組構築

問題意識

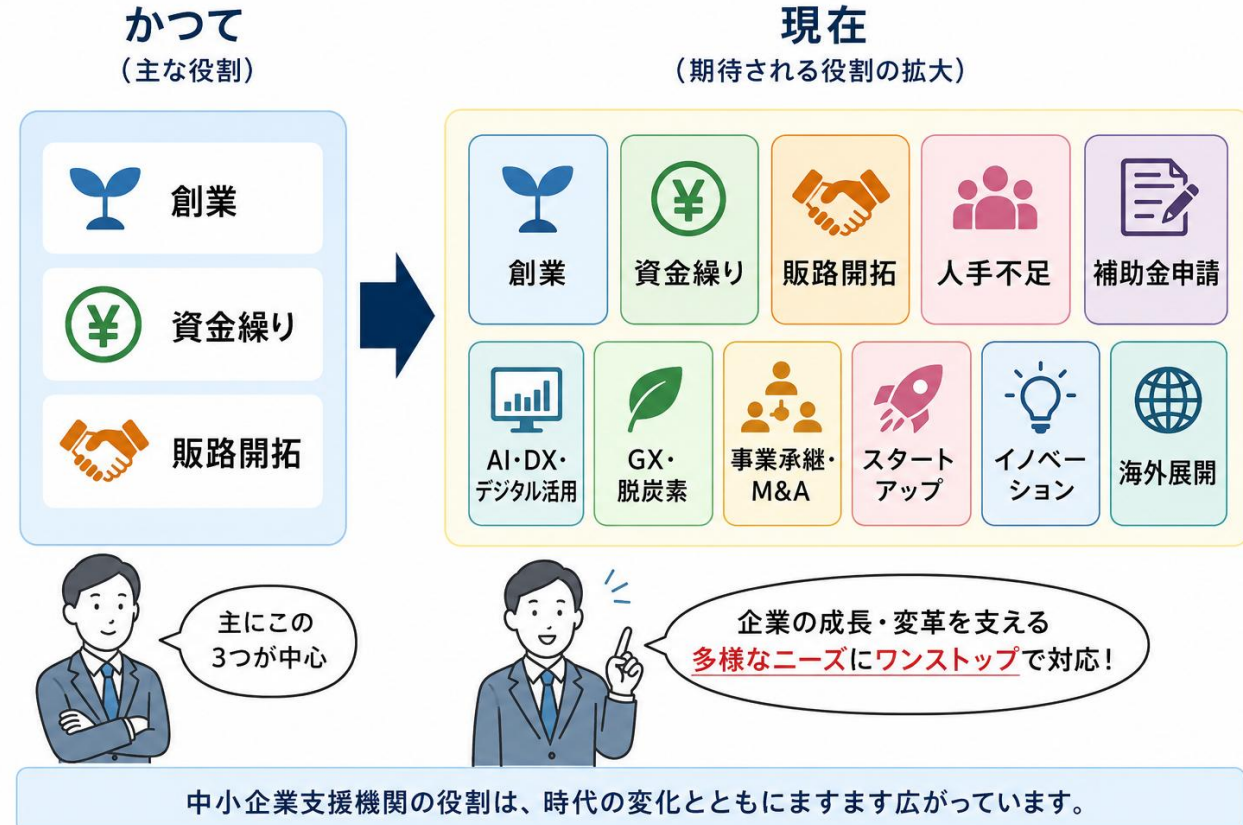
- ✓ 企業はそもそも経営課題が山積している（人手不足、原材料価格高騰、販路開拓、人材育成、後継者問題、デジタル化、新規事業開発、資金繰り・・・）
- ✓ そうした中でも、脱炭素・GXも進めて行かないと将来的にサプライチェーンから取り残される恐れがある・・・
- ✓ 特に脱炭素は、経済活動等によって地球環境に悪影響を及ぼす「外部不経済」となっていることから、事業者が当事者意識を持ちにくい。
- ✓ 地域経済を支える支援機関としては、地元企業が脱炭素しながらも「生産性」や「雇用」を高めて欲しい・・・

7. 支援機関等の連携による面的支援の枠組構築

一方で、支援機関を取り巻く環境も変わってきている

期待される「テーマ・分野」は拡大し、「難易度」も高まっている

- ✓ 従来型（短期的）の支援メニューでは、企業の経営課題は十分に解決できない。
- ✓ 特に大手・中堅企業への支援は不十分・・・
- ✓ でも支援機関の人材リソースは変わらない（と良うより、むしろ減少していく・・・）
- ✓ 支援機関も自前主義は限界にある



7. 支援機関等の連携による面的支援の枠組構築

だから連携が必要！

支援機関もオープンイノベーション的発想でリソース不足を克服していくべき

「神戸カーボンニュートラル支援ネットワーク」

- 行政や支援機関が面的に連携を深めた枠組み。
- 担当者同士が顔の見える関係性を構築し、個々の強みや支援メニューを理解する。
- 企業ニーズに対応可能な先の紹介や支援事例・成功事例の共有、脱炭素の取り組みを推進するための方策や課題等について検討する。

参画機関：18機関36名（参加機関名）

経済産業省近畿経済産業局／環境省近畿地方環境事務所／中小機構近畿本部／

信金中央金庫／日本政策金融公庫神戸支店／(株)三井住友銀行／(株)みなと銀行／東京海上日動火災保険(株)

兵庫県環境部／兵庫県産業労働部／(公財)ひょうご産業活性化センター／(公財)ひょうご環境創造協会

神戸市環境局／神戸市経済観光局／(公財)こうべ産業・就労支援財団／

(株)みのりアソシエイツ／(特非)ワット神戸／

神戸商工会議所

7. 支援機関等の連携による面的支援の枠組構築

① 定期的な意見交換・ワークショップの開催

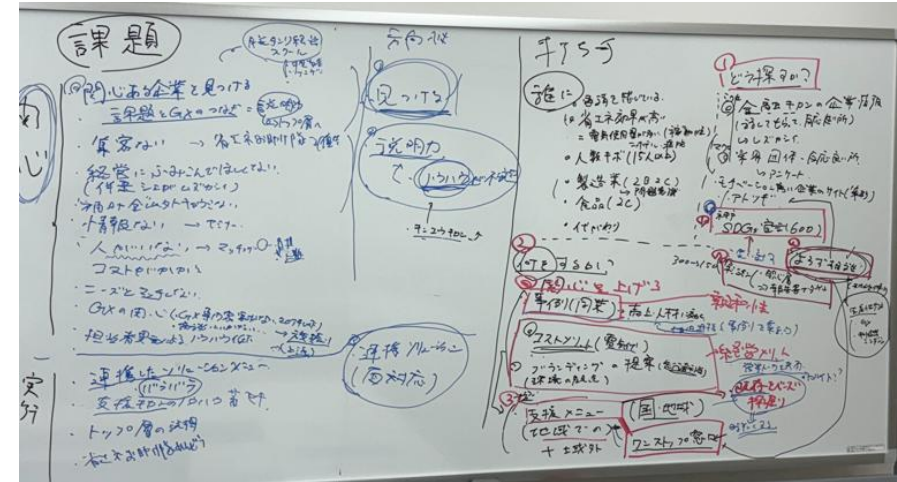
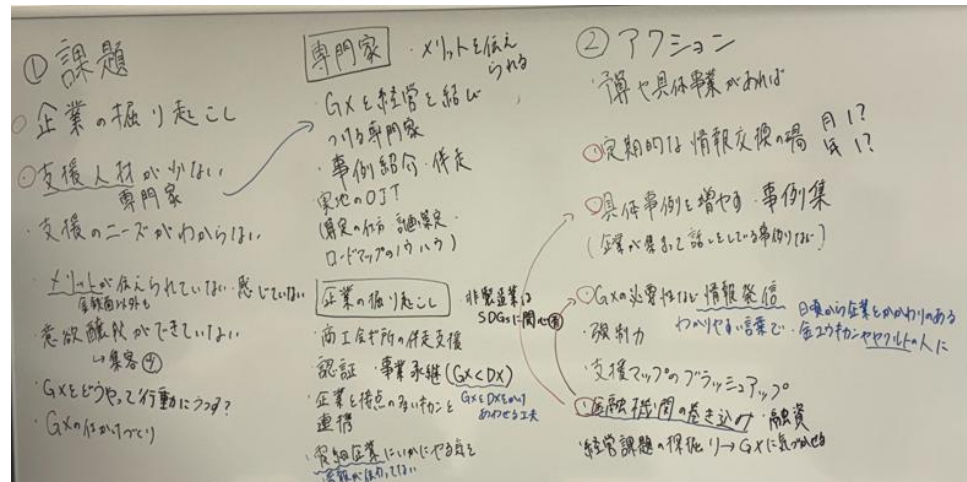
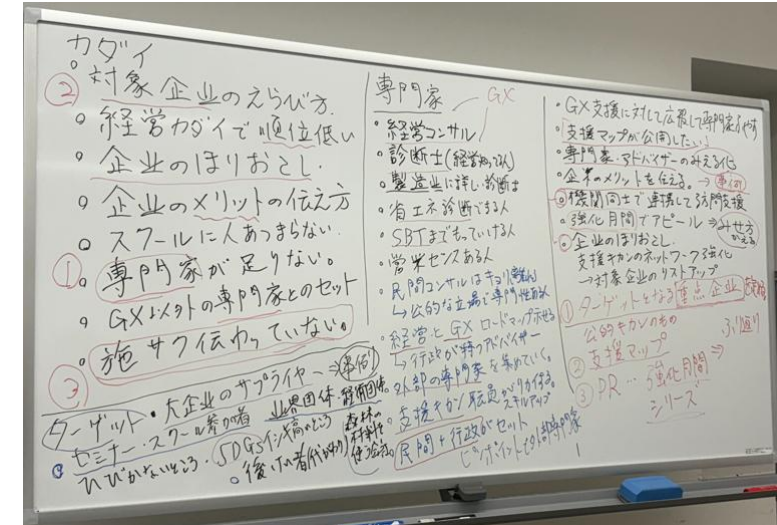
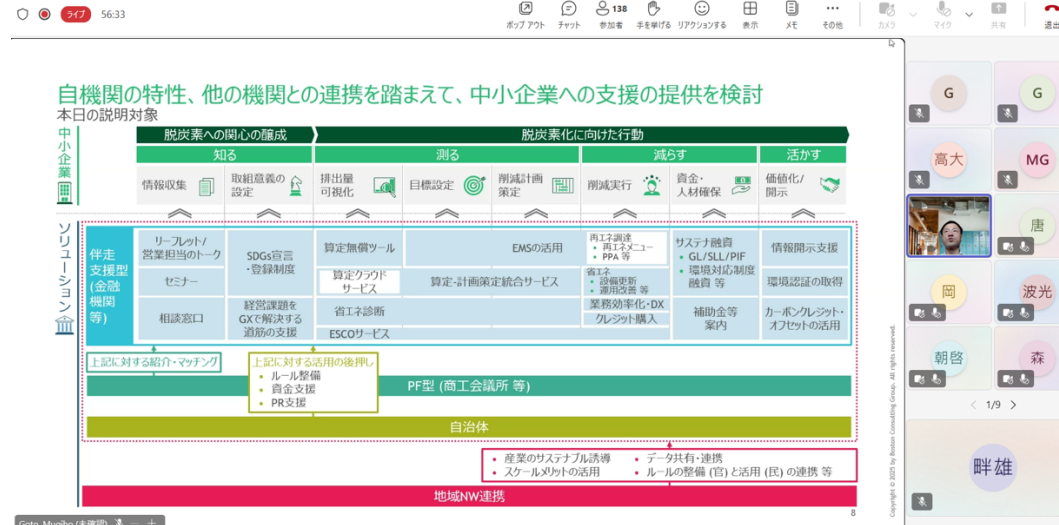


②支援機関の役割見える化シートの作成・共有



7. 支援機関等の連携による面的支援の枠組構築

③令和7年度 中小企業に対する支援機関等のGX支援体制強化事業の参画 (研修プログラム (Cコース: GXを切り口とした経営課題解決提案の実践力を高める))



7. 支援機関等の連携による面的支援の枠組構築

③令和7年度 中小企業に対する支援機関等のGX支援体制強化事業の参画 (研修プログラム (Cコース：GXを切り口とした経営課題解決提案の実践力を高める))

アクションプラン FMT例

コース

C

地域

神戸市

2030年に向けた
地域としての方向性

支援機関がより一丸となって各自の支援メニューの拡充と連携体制の強化を図り、地元中小企業の企業価値の向上に繋がるGX経営を推進する。

背景となる課題	施策	内容	目標時期	ネクスト アクション	参加機関(役割)
中小企業のGX意欲醸成 ・GX単体では経営課題の優先度が低い(情報不足、コスト負担、人材不足) ・GXを自分事として捉えられておらず、必要性が感じられない ・支援機関の施策が十分に伝わっていない	1 支援機関の連携強化による情報共有や個別案件の橋渡し、共同事業の実施	支援機関同士がより連携を深め、顔の見える関係性を構築する。定期的に担当者が集まる連絡会を開催する。 支援機関担当者は、各団体の支援策を理解するとともに、脱炭素セミナー等を共同開催し相乗効果を高める。また、対象企業の掘り起こしや具体的な成果事例、個別企業の課題等について共有する。個別案件の橋渡しは随時行う。	2026年度上半期(年間2回程度) 2026年度より随時	2026年5月頃に連絡会を開催 連携事業を随時実施	兵庫県、神戸市、ひょうご産業活性化センター、ひょうご環境創造協会、こうべ産業・就労支援財団、みなと銀行、みのりアソシエイツ、ワット神戸、東京海上日動火災保険、神戸商工会議所
中小企業のGX実践(排出削減) ・経営課題が多岐に渡る中、GXの情報収集やGHG排出量削減実践に取り組むリソースが不足している。 ・中小企業が単独では取り組みにくく、地域内の専門家も不足	2 「GX支援マップ」の作成・公開と専門家や関連企業との連携強化	産官学の各機関が持つ支援メニューをまとめた「GX支援マップ」を分かりやすくリニューアルし、企業訪問時などで各機関が活用する。マップはWebサイト等でも公開。 経営課題とGXを紐づけられるコンサルタントや中小企業診断士等の専門家、GXソリューションを持つ企業やスタートアップを発掘し、連携体制を強化する。	2026年4月 2026年度より随時	2026年3月に支援マップの新雛形を共有 随時各機関にて情報収集	兵庫県、神戸市、ひょうご産業活性化センター、ひょうご環境創造協会、こうべ産業・就労支援財団、みなと銀行、みのりアソシエイツ、ワット神戸、東京海上日動火災保険、神戸商工会議所
	3 「自分事化」を促す成功事例の収集と周知、企業訪問・相談対応の際のプッシュ型提案	生産性向上や省エネ化等のアプローチで上手くGXの実践にも繋がり企業価値の引上げに成功した事例を収集、事例集を作成 セミナーや企業訪問・相談対応時にGX支援マップや事例集を活用、GX経営が企業価値向上に繋がることを訴求する。また、セミナー登壇等で成果事例を持つ企業を紹介し、機運醸成を高め対象企業の発掘に繋げる。	2026年度より 2026年度より	随時各機関にて情報収集 GX支援マップ作成後、随時	兵庫県、神戸市、ひょうご産業活性化センター、ひょうご環境創造協会、こうべ産業・就労支援財団、みなと銀行、みのりアソシエイツ、ワット神戸、東京海上日動火災保険、神戸商工会議所

7. 支援機関等の連携による面的支援の枠組構築

④GX支援マップ作成、Webサイト公開

Tr	施策・サービス名	Tr	内容	対象企業の規模	対象業種	利用料	提案ポイント(3行程度)	Tr	問合せ先	Tr	事業ページURL	STEP	実施主体	Tr	ステータス	開始日	終了日	備考	@dropdown
	CO2排出量見える化・削減支援サービス		自社を取り巻くサプライチェーン全体のCO2排出量見える化ツールを持つ企業とのマッチングを随時行っています。 ※神戸商工会議所会員には特典があります(詳細はお問合せください)。 財団職員による実務面の伴走支援 ※サポートメニュー -CO2排出量の可視化 -CO2排出量削減計画の策定 -中小企業版SBT認証の取得	大企業、中堅企業、中小企業、小規模企業・個人事業	業種指定無し	無料	-CO2排出量見える化の支援 -デジタル実証実験の上、利用判断可能 -神戸商工会議所会員は割引特典アリ		神戸商工会議所 産業創 TEL:078-303-5806		https://kobe.bizmatch.jp/gc/events/	STEP2(測る)	神戸商工会議所		受付中	2023/09/01	yyyy/mm/dd	備考	
	SBT取得支援事業		財団職員による実務面の伴走支援 ※サポートメニュー -CO2排出量の可視化 -CO2排出量削減計画の策定 -中小企業版SBT認証の取得	中小企業	業種指定無し	無料	-支援費用は無料(※SBT申請費用は実費負担) -財団職員による実務支援 -必要に応じて適切な支援機関への橋渡し、支援策の実施のコーディネート		公益財団法人こうべ産業・就労支援財団 産業イノベーション推進部 TEL: 078-360-3200 Mail: innovation@kobe-ipc.or.jp		https://kobe-ipc.or.jp/carbon-neutral	STEP2(測る)	市産業就労財団		受付中	2026/04/01	yyyy/mm/dd	備考	
	省エネ診断(省エネお助け隊)		経産省の省エネお助け隊 エネルギーの専門家による事業場のウォークスルー診断	中小企業、中堅企業、小規模企業・個人事業	業種指定無し	無料	-診断、伴走支援は1割負担(9割は補助金) -工場全体のエネルギーフローの確立、各設備のエネルギー使用量や稼働状況の可視化、各種補助金、税制等の紹介		株式会社みのりアソシエーツ TEL: 078-595-9668 Mail: info@enecho.jp		https://shoenshindan.jp/	STEP1(知る)	共同イノベーション		受付中	2026/03/30	2027/01/31	令和7年度補正省エネ診断事業者の募集開始は、2026/3/30～事業開始時期は、2026年4月末日の見	
	伴走支援(省エネお助け隊)		経産省の省エネお助け隊 エネルギーの専門家による伴走支援 経営の専門家による経営サポート支援	中小企業、中堅企業、小規模企業・個人事業	業種指定無し	無料	-伴走支援は1割負担(9割は補助金) -省エネ機器選定等のアドバイス -計測設備による各設備の稼働状況の可視化 ※伴走支援は、省エネ診断の受診後に支援可能。 -各種補助金、税制等の紹介		株式会社みのりアソシエーツ TEL: 078-595-9668 Mail: info@enecho.jp		https://shoenshindan.jp/	STEP3(減らす)	共同イノベーション		受付中	2026/03/30	2027/01/31	令和7年度補正省エネ診断事業者の募集開始は、2026/3/30～事業開始時期は、2026年4月末日の見	
	KEMS(神戸環境マネジメントシステム)		KEMS(神戸環境マネジメントシステム) あらゆる面で環境負荷を低減し、持続可能な経営・事業運営のためのマネジメントシステム ・審査・登録を行うことにより社会的な信頼が得られる。	中堅企業、中小企業、小規模企業・個人事業	業種指定無し	無料	-シンプルで取り組みやすいコスト削減が図れる。 -負担が少なく、コンサルティング等支援体制が充実している。 -環境負荷の低減とコスト意識の浸透が図れる。		こうべ環境フォーラム事務局 TEL: 078-367-2640 Mail: kobe-ems@r4.dion.ne.jp		https://www.kemskobe.org/	STEP3(減らす)	こうべ環境フォーラム		受付中	yyyy/mm/dd	yyyy/mm/dd	備考	
	ひょうご脱炭素経営スクール		中小企業等が脱炭素経営のポイントや最適な手法について学ぶ場を提供し、企業の自主的な脱炭素化の取組を推進	中小企業、小規模企業・個人事業	業種指定無し	無料	-人材育成、人材確保などの経営課題解決にまでつながる「脱炭素経営計画」策定を伴走支援		兵庫県環境部環境政策課 温暖化対策班 TEL:078-362-3284 Mail:kankyouseisaku@pref.hyogo.lg.jp 神戸市環境局脱炭素推進課 温暖化対策班 TEL:078-595-6213 Mail:eco_office@city.kobe.lg.jp		https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk19/rkdatsums.html https://www.city.kobe.lg.jp/a7459/413115/08021.html	STEP1(知る)	兵庫県環境部・神戸市環境局		準備中	yyyy/mm/dd	yyyy/mm/dd	備考	
	中小企業投資促進等助成		市内中小企業の事業基盤の強化を図ることを目的として、技術力や生産性の向上、受注拡大、研究開発機能の強化などに向けた設備投資等を行う事業者に対して補助制度	中小企業	業種指定無し	補助金	-導入する設備が従来に比べてCO2排出量1%以上削減される設備の場合は助成率を上乗せ -補助率は最大2分の1で上限額は3,000万円		神戸市経済観光局 ものづくり産業課 神戸市中央区助産道6-1-12 三宮ビル東側 TEL:078-984-0340 Mail:kogyoka@city.kobe.lg.jp		https://www.city.kobe.lg.jp/a93457/business/saangoshinko/shoksgya/venture/monodukuri/techisokusan/index.html	STEP1(知る)	神戸市経済観光局		準備中	yyyy/mm/dd	yyyy/mm/dd	2026年4月に公募開始	
	神戸地産企業等支援補助制度(脱炭素化促進をテーマとした研究・開発支援事業)		市内中小企業が取り組む脱炭素化促進をテーマとした、新事業展開のための試作開発や新素材・新製品の研究開発費の補助制度	中小企業	業種指定無し	補助金	-脱炭素促進をテーマとした①新製品等の研究・開発や新事業展開のための試作開発に対しての補助 -補助率は最大3分の2で上限額は750万円		神戸市経済観光局 ものづくり産業課 神戸市中央区助産道6-1-12 三宮ビル東側 TEL:078-984-0340 Mail:kogyoka@city.kobe.lg.jp		https://www.city.kobe.lg.jp/a93457/business/saangoshinko/shoksgya/venture/monodukuri/techisokusan/index.html	STEP1(知る)	神戸市経済観光局		準備中	yyyy/mm/dd	yyyy/mm/dd	2026年5月に公募開始	
	カーポータル支援専門家派遣		脱炭素化に向けた取り組みに意欲のある県内ものづくり中小企業に専門家を派遣	中堅企業、中小企業、小規模企業・個人事業	製造業・建設業・運輸業・その他(上記以外)	無料	-脱炭素、GX、カーポータルへの取組を伴走で支援します		公益財団法人ひょうご産業活性化センター 事業推進部 取引業務課 TEL: 078-977-6074 Mail: torihiku@staff.hyogo-ic.ne.jp		https://web.hyogo-ic.or.jp	STEP1(知る)	ひょうご産業活性化センター		受付中	2026/04/01	yyyy/mm/dd	備考	
	ひょうご産業SDGs推進宣言事業、同認証事業		推進宣言事業: SDGsに積極的に取り組む中小企業・団体が宣言 認証事業: 宣言企業のステップアップ(3段階)の取組を県が認証 宣言企業は省エネ診断にGX診断補助制度あり	中小企業	業種指定無し	無料	-宣言企業への登録、認証は無料 -エネルギー使用の「ムダを見る化」する省エネ診断 Mail: sdgs@staff.hyogo-ic.ne.jp		公益財団法人ひょうご産業活性化センター 事業推進部 成長支援課 TEL: 078-977-9117 Mail: sdgs@staff.hyogo-ic.ne.jp		https://web.hyogo-ic.or.jp	STEP2(測る)	ひょうご産業活性化センター		受付中	2025/04/01	yyyy/mm/dd	STEP、開始日は「G」	
	GHG排出量算定サービス		事業活動に伴い排出される温室効果ガス排出量の算定に役立つサービス利用料の一部を補助することで、事業者の脱炭素経営を支援	中小企業	業種指定無し	無料	-正確なCO2排出量見える化の支援 -Scope1,2又はScope1,2,3の算定メニューが補助		公益財団法人ひょうご環境創造協会 温暖化対策第2課 (兵庫県環境部環境政策課内) TEL:078-362-3284		https://www.eco-hyogo.jp/global-warming/ghgsante2/023	STEP2(測る)	ひょうご環境創造協会		受付中	2026/04/01	yyyy/mm/dd	備考	
	自家消費型住宅用太陽光発電導入補助		屋根型等々の自家消費型太陽光発電導入を促進するため、中小企業向け導入補助を実施	中小企業	業種指定無し	補助金	-太陽光発電設備を設置する事業者に対して、その対象設備はPPA・リースによる屋根置き・野立て		兵庫県環境部環境政策課 温暖化対策班 TEL:078-362-3273		https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk19/saiskyokhoj/gyosya2026.html	STEP3(減らす)	兵庫県環境部		準備中	yyyy/mm/dd	yyyy/mm/dd	備考	
	木質バイオマスボイラー導入補助		化石燃料の代替として使用可能な木質バイオマス燃料(チップ・ペレット、薪等)を燃焼するボイラーについて、設備導入費の支援をすることで、地球温暖化対策並びに再生可能エネルギーの導入を促進	中小企業、大企業、中堅企業、小規模企業・個人事業	業種指定無し	補助金	-地域脱炭素の取組に資する木質バイオマスの熱		兵庫県環境部環境政策課 温暖化対策班 TEL:078-362-3284		https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk19/biomassu.html	STEP3(減らす)	兵庫県環境部		準備中	yyyy/mm/dd	yyyy/mm/dd	備考	
	兵庫県中小企業融資制度(脱炭素・環境保全費)		脱炭素経営に積極的に取り組む事業者や、環境保全に資する設備を設置しようとする事業者を低利融資により支援	中小企業		融資	-脱炭素経営等に取組む際の設備導入時の資金		兵庫県環境部環境政策課 温暖化対策班 TEL:078-362-3284			STEP3(減らす)	兵庫県環境部		受付中	yyyy/mm/dd	yyyy/mm/dd	融資の申し込みは、	

7. 支援機関等の連携による面的支援の枠組構築

⑤連携事業の開催、企業の課題に応じた支援メニューの紹介

エネルギー危機に負けない、強い脱炭素経営を実現したい皆様へ

脱炭素で未来を拓く ひょうご脱炭素経営 スクール

ともに、学ぶ！

脱炭素経営の次の1手に



コスト削減や補助金活用、取引継続、採用強化につながる脱炭素経営

(公財)こうべ産業・就労支援財団 主催

カーボンニュートラルに向けた 最新動向&支援制度紹介 ～省エネお助け隊事業連携セミナー～

参加費
無料

政府は2050年にカーボンニュートラル実現を目指すと言明しており、これに伴い中小企業の経営環境が今後変化していくことが予想されます。

本セミナーは、中小企業の皆様が今後積極的にカーボンニュートラルへ取り組んでもらえるよう、各支援機関と連携し中小企業の経営活動を支援するためのカーボンニュートラルに関する最新動向と支援制度について紹介します。

2025年 7月 17日(木) | 14:00～16:00

会場 神戸市産業振興センター902+903会議室

定員 50名(現地参加のみ)

対象 兵庫県内の中小企業及び支援機関担当者等
※神戸市内の中小企業を優先させていただきます

申込方法 下記URLまたは二次元コードより申込ください
<https://forms.office.com/r/90cP0W9Xyf>



神戸商工会議所
脱炭素・GX支援事業

燃料電池(FC)商用車 普及拡大施策説明会

～脱炭素化に向けて、FC商用車を導入しませんか？～

運送業における脱炭素化の実現に向けて、水素を燃料としたトラック等のFC商用車の活用が期待されています。

今般、官民一体となり先行的なFC商用車需要の創出、周辺需要の喚起を図る国の「重点地域」に兵庫県が選定されました。普及に向けた取組みの第一歩として、FC商用車の導入意義や有用性に加え、国や自治体の支援策などを知る機会として今般説明会を開催します。関心がございましたら是非ご参加ください。

- 行政・支援機関による連携事業の開催や、個別企業のニーズに合わせた支援メニューの紹介、相談企業の橋渡しなどを日常的に実施
- こうべ産業・就労支援財団が取り組むSBT取得支援事業には10社が取り組む等の成果を創出